

TOPIC 1

建設発生土マッチングシステムの運用状況

- 「静岡県建設発生土マッチングシステム(SSM)」は、官民間問わず無料で手軽にマッチングできるWEBシステムです。工事間流用促進のため、ぜひご活用ください。システムはページ下部に記載のQRコードからアクセスできます。

〈運用状況 R5.9.12時点〉

ユーザー登録数	386名
土が出る工事（搬出）	53件
土が欲しい工事（搬入）	9件



◆ おしらせ

- ・ **9月4日**
盛土材料取扱基準検討WG（第3回）を行いました。
- ・ **9月末日**
SSMにストックヤード等の中間処理場が掲載可能となります。

TOPIC 2

建設発生土に関するよくある問い合わせ

Q リサイクル原則化ルールは経済性で不利になっても順守すべきですか？

A リサイクル原則化ルールは経済性にかかわらず実施することとなっていますので、徹底をお願いします。ただし、経済性が極端に不利になるような場合は、個別に御判断願います。

Q スtockヤードや最終処分場へ搬出する場合、土壌の汚染状況調査を行う必要がありますか？

A 搬出先が条例の許可を受けている場合、搬出先から「土砂基準に適合することを証明する」よう求められます。調査方法については「地歴調査」と「分析調査」の2種類ありますが、公共工事の場合は、まず「地歴調査」を行ってください。搬出先から求められた場合等、必要に応じて「分析調査」の実施を検討してください。

Q 建設発生土処理施設一覧表に記載されている単価は地山数量の単価ですか？

A 記載されている単価は「ほぐした状態」の単価です。積算計上する場合は、発生する土砂の土量変化率を考慮した数量とする必要があります。
(100m³当り)

- (例) 条件①地山土量100m³を掘削運搬処分
②土質は粘性土 (L = 1.25)
③処分単価は「ほぐした状態」

項目	数量	備考
掘削	100m ³	
土砂等運搬	100m ³	
処分費	125m ³	100×1.25

Q 昨年度通知のあった「静岡県盛土等の規制に関する条例施行に伴う建設発生土受入れ条件見直しへの対応について（令和4年10月26日付建経技第269号）」は今年度も有効ですか？

A 今年度は有効ではありません。

◆手軽に登録・情報検索
◆無料で使用可能!!
<https://ssm-system.jp/>

SSM

静岡県建設発生土マッチングシステム
Shizuoka Surplus Soil Matching System

